

平成 24 年 3 月 8 日
名古屋税関

4 年連続で 70,000 点を超える

～平成 23 年の名古屋税関における知的財産侵害物品の差止状況～

名古屋税関は、平成 23 年の管内における偽ブランド品等の知的財産侵害物品の差止状況をまとめましたのでお知らせします。

- ◆ 4 年連続で差止件数が 1,200 件を超過
- ◆ 4 年連続で差止点数が 7 万点を超過
- ◆ ヒット商品に便乗した靴類の差止めが前年から引き続き増加
- ◆ 中国来の知的財産侵害物品の差止シェアは約 80%

〔差止件数及び点数〕

- ・ 輸入差止件数は 1,438 件であり、前年に比べて 7.3%の減少、輸入差止点数は 88,201 点に上り、前年に比べて 23.0%増となりました。これは、1 日平均約 240 点の知的財産侵害物品を差し止めていることとなります。

〔品目別〕

- ・ 商標権を侵害するバッグ類の差止めが減少する一方、商標権を侵害する靴類の差止めが前年から引き続き増加しており、ヒット商品に便乗した商品の差止めが増加しています。

〔輸送形態別〕

- ・ 輸送形態別で見ると、郵便物が全体の件数の 88.0%を占めており、前年の 92.3%から減少したものの、引き続き、郵便により輸入しようとしている傾向が見られました。
- ・ なお、差止件数全体において一般貨物が占める割合は低いものの、靴類の差止めが増加したことを受けて、一般貨物の差止件数は前年に比べて 45.4%増加しました。
- ・ 郵便物、一般貨物ともに、昨年比べて差止点数が増加しました。

〔仕出国別〕

- ・ 中国来の知財侵害物品の差止件数は1,131件であり、仕出国別の構成比では、前年に続き全体の約8割（78.7%）を占めるに至っています。一方、2位のフィリピン来が構成比9.7%、3位の香港来が同4.8%を占めるにとどまっております。中国来への一極化の傾向にあると言えます。
- ・ なお、前年2位であった韓国来は、3.8%を占めるにとどまり4位となりました。

【お問合せ先】

名古屋税関総務部税関広報広聴室

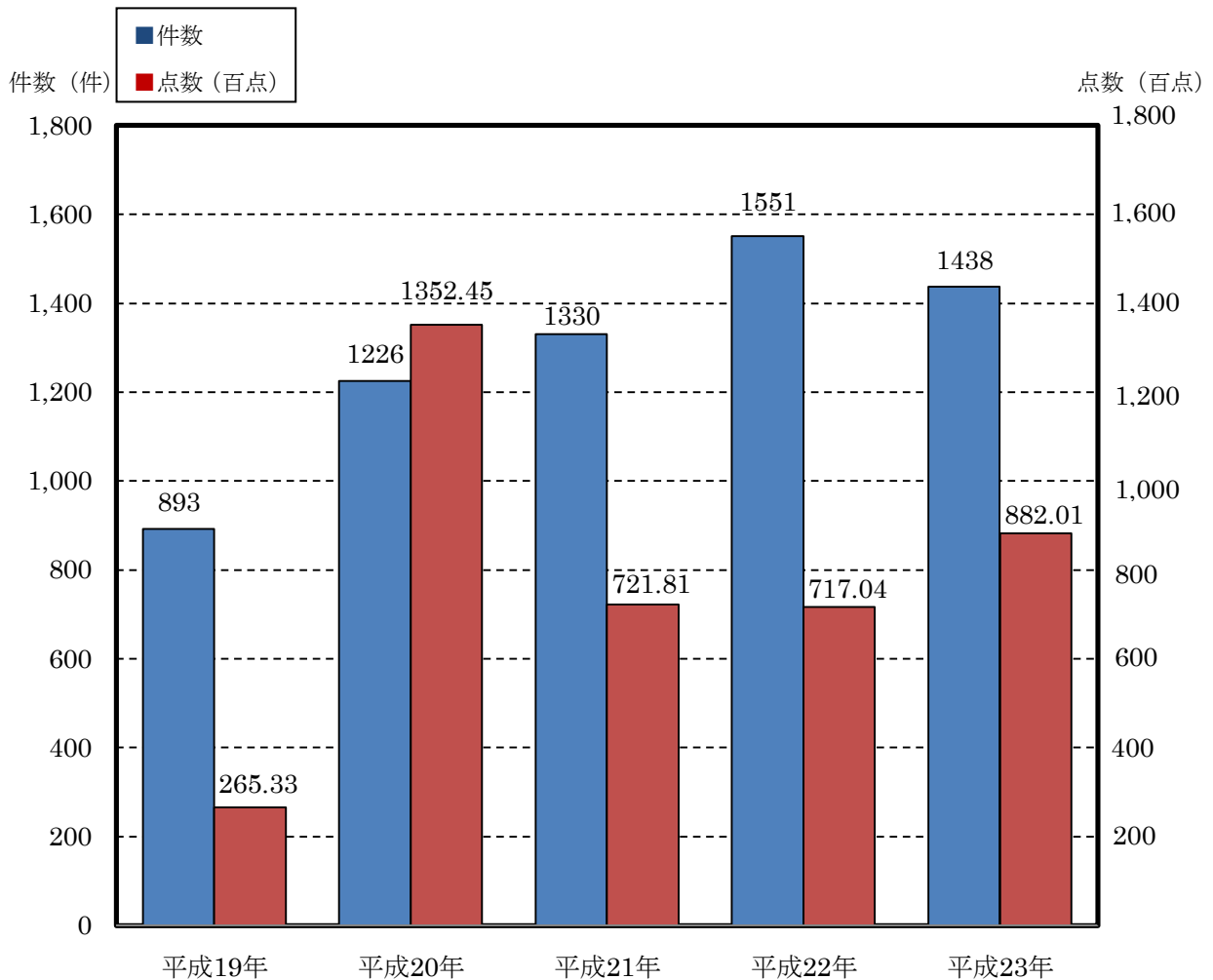
TEL：052-654-4008

平成 23 年の名古屋税関における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

- 平成 23 年の名古屋税関における知的財産侵害物品の輸入差止件数は、1,438 件で前年と比較して 7.3%減少したものの、前年の 1,551 件に次ぐ 2 番目の件数であり、平成 20 年以降 4 年連続で 1,200 件を超え、高水準にあります。
- 輸入差止点数は、88,201 点で前年と比較して 23.0%増加（16,497 点の増加）し、4 年連続で 70,000 点を超えました。1 日平均で、約 240 点の知的財産侵害物品の輸入を差し止めていることとなります。
- 点数の増加は、中国からの「靴類」（商標権侵害）が増加したことが大きな要因です。
- 知的財産侵害物品の輸出差止件数はありませんでした。

（注） 「差止件数」及び「差止点数」は、税関が差し止めた知的財産侵害物品に係る一般貨物及び郵便物の件数及び点数をそれぞれ計上したものである。

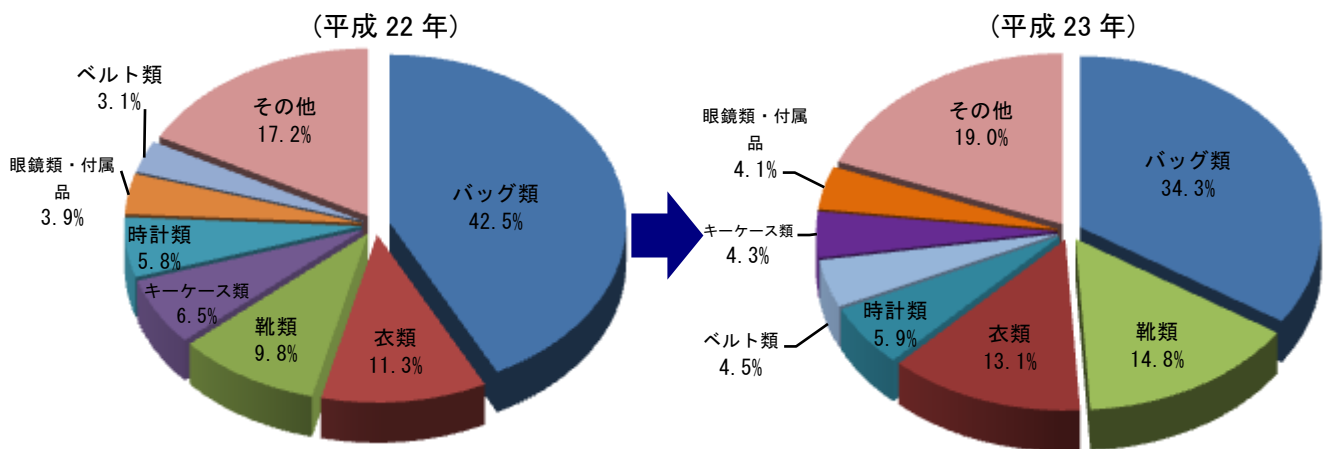
知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成 19 年～平成 23 年）



○品目別輸入差止実績

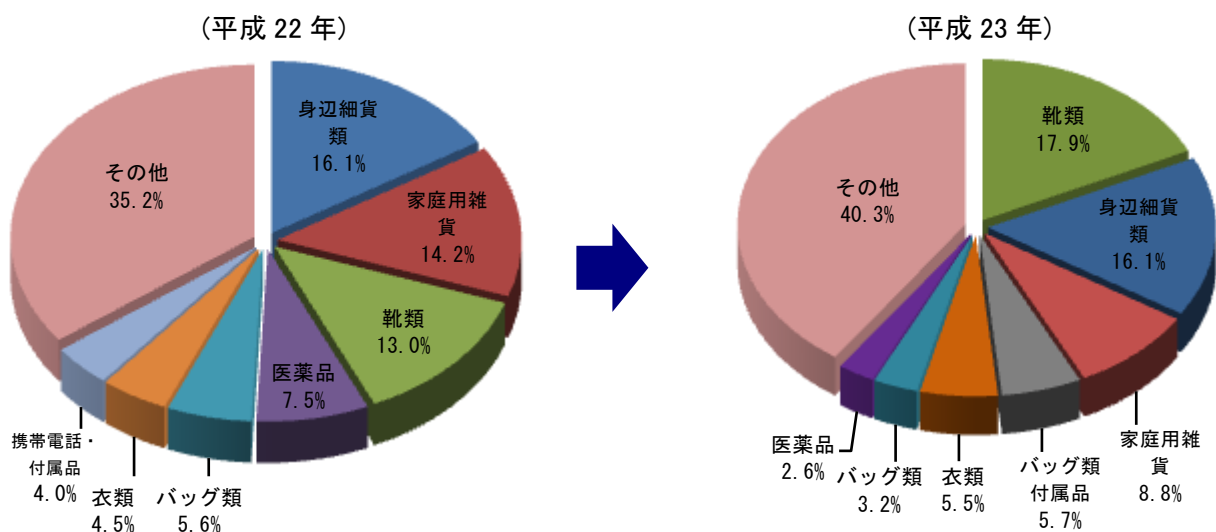
- 輸入差止件数は、ハンドバッグや財布などのバッグ類が 680 件（構成比 34.3%、前年比 24.9% 減）、次いで靴類が 293 件（構成比 14.8%、同 40.9% 増）、衣類が 260 件（同 13.1%、同 7.9% 増）でした。
- 輸入差止点数は、サンダルを含む靴類が 15,793 点（構成比 17.9%、前年比 69.8% 増）、次いでアクセサリーパーツを含む身近細貨類が 14,157 点（構成比 16.1%、22.7% 増）、魔法瓶を含む家庭用雑貨が 7,771 点（同 8.8%、同 23.8% 減）でした。
- 件数・点数ともに増加した品目には、靴類（件数前年比 40.9% 増、点数前年比 69.8% 増）、身近細貨類（同 41.2% 増、同 22.7% 増）等がありました。

品目別差止実績構成比の推移（件数ベース）



(注)四捨五入しているため、品目毎の構成比の合計が 100%とならない場合がある。

品目別差止実績構成比の推移（点数ベース）

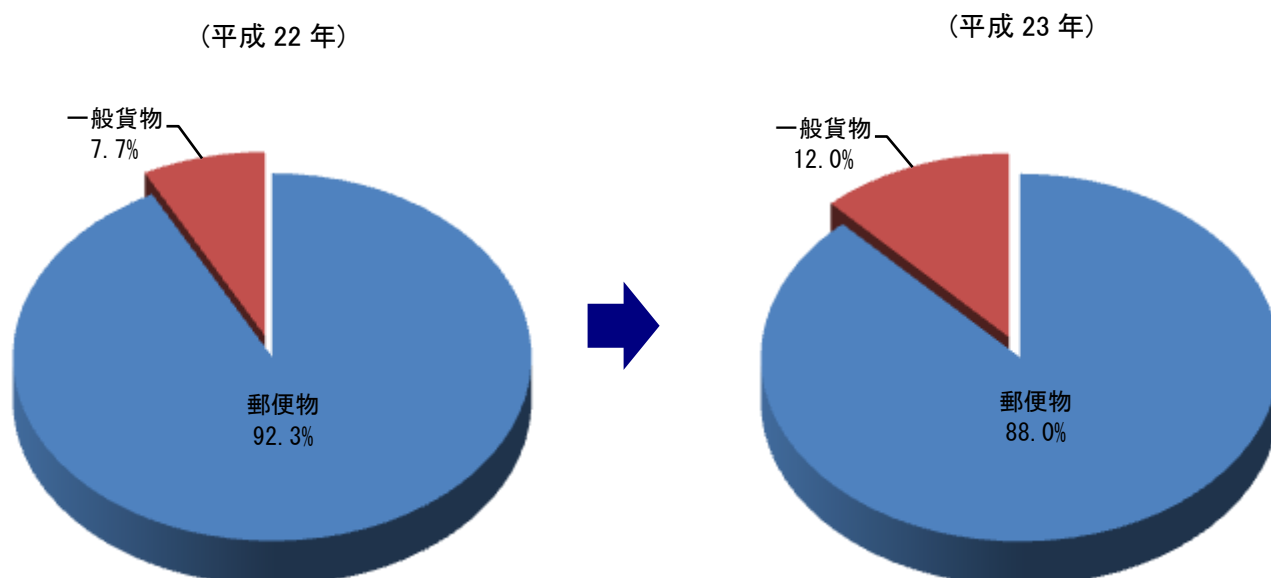


(注)四捨五入しているため、品目毎の構成比の合計が 100%とならない場合がある。

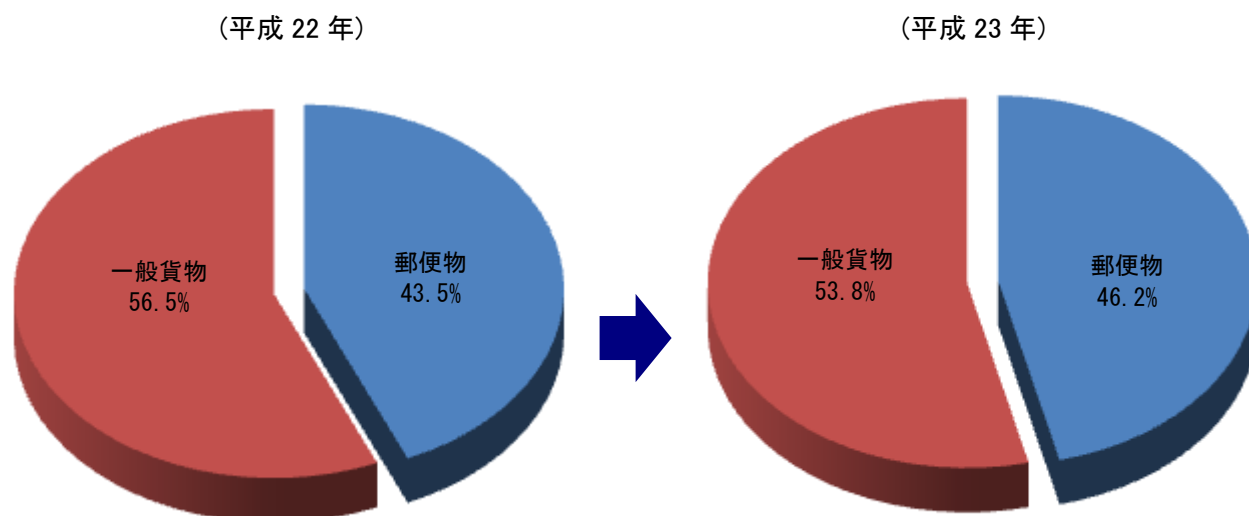
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、郵便物が大半を占めており、郵便物が 1,265 件（構成比 88.0%）、一般貨物が 173 件（同 12.0%）でした。前年に比べて、郵便物が 11.7%減少、一般貨物が 45.4%増加しました。
- 輸入差止点数は、郵便物が 40,733 点（構成比 46.2%）、一般貨物が 47,468 点（同 53.8%）となり、前年に比べて、郵便物が 30.6%増加、一般貨物が 17.2%増加しました。
- 郵便物が占める比率は、件数ベースでは前年比 92.3%とやや下回ってますが、点数では増加しています。これは、著作権を侵害する大量のアクセサリーパーツが差し止められた事例があったことによります。

輸送形態別差止実績の推移（件数ベース）



輸送形態別差止実績の推移（点数ベース）

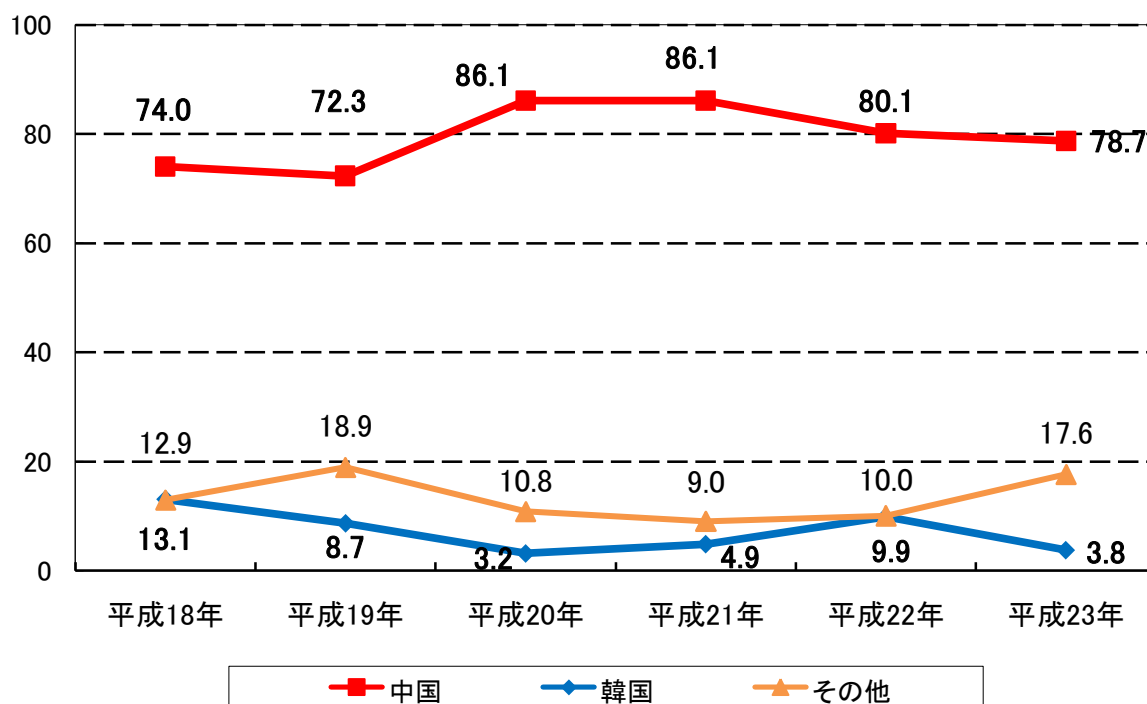


(注)四捨五入しているため、品目毎の構成比の合計が 100%とならない場合がある。

○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が1,131件（構成比78.7%、前年比8.9%減）と前年を若干下回ったものの、引続き高水準にあります。次いでフィリピン来が140件（同9.7%、77.2%増）、香港来が69件（同4.8%、102.9%増）でした。過去、差止件数の多かった韓国来は、54件（同3.8%、64.9%減）に減少し4位でした。
- 輸入差止点数は、中国来が68,965点（構成比78.2%、前年比20.2%増）と増加し、次いで台湾来が8,684点（同9.8%、271.3%増）、韓国来が6,710点（同7.6%、82.6%増）でした。
- 件数・点数ともにフィリピン来の構成比が増加するも、引き続き中国来への一極化が進んでいます。

中国・韓国の差止件数（構成比）の推移



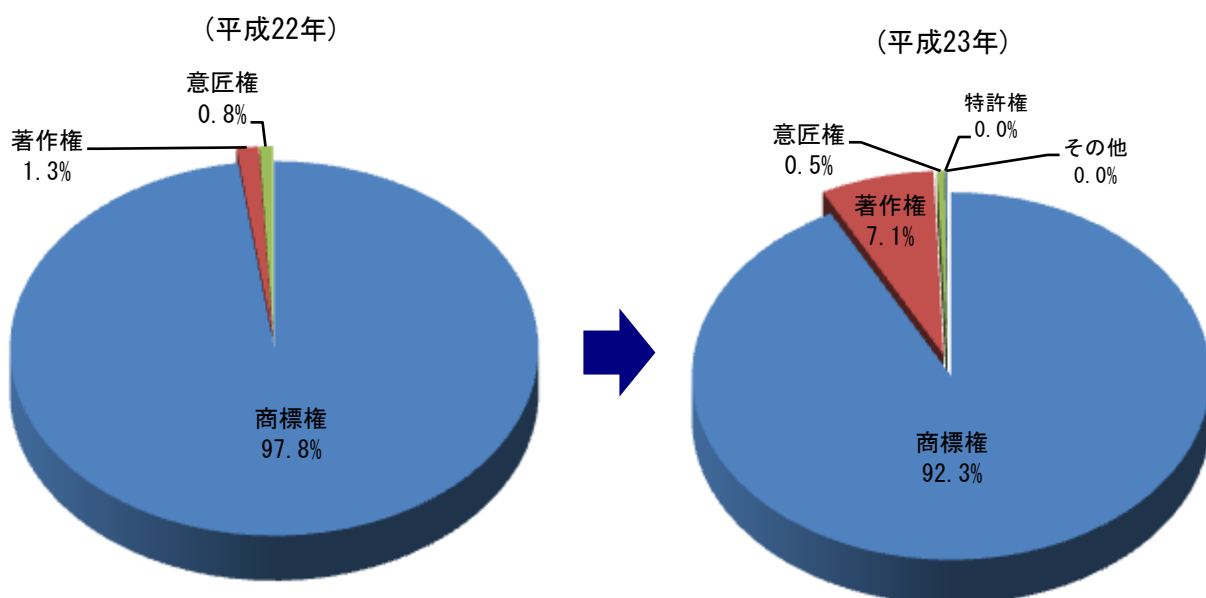
差止件数構成比推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
中国	74.0%	72.3%	86.1%	86.1%	80.1%	78.7%
韓国	13.1%	8.7%	3.2%	4.9%	9.9%	3.8%
その他	12.9%	18.9%	10.8%	9.0%	10.0%	17.6%

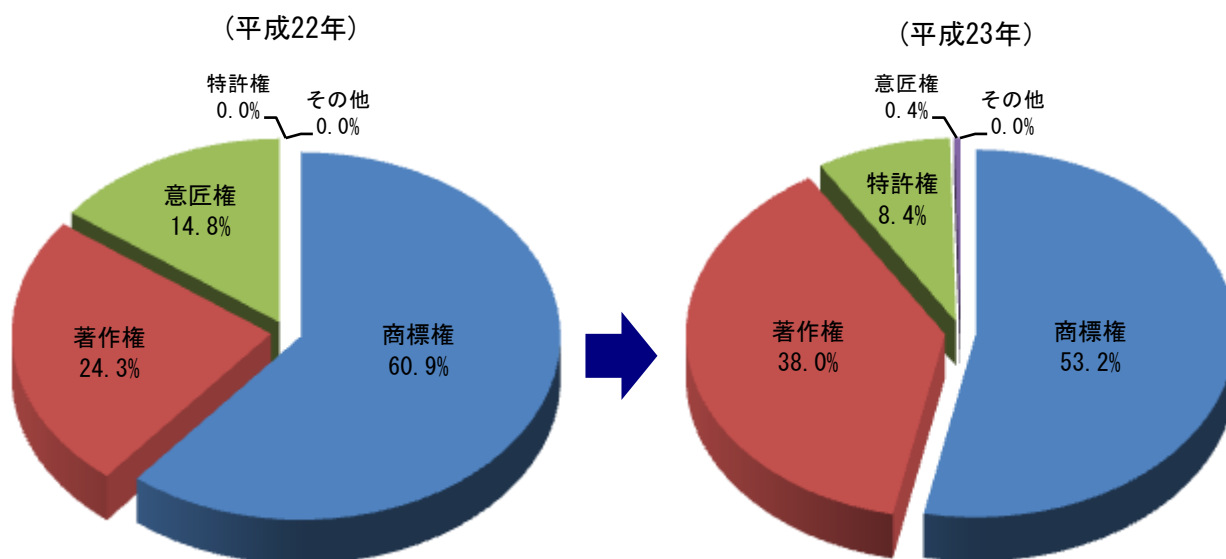
○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランド品などの商標権侵害物品が 1,341 件（構成比 92.3%、前年同期比 12.2%減）で全体の大半を占め、次いでキャラクターグッズ等の著作権侵害物品が 103 件（同 7.1%、390.5%増）となりました。
- 輸入差止点数についても、例年同様、商標権侵害物品が大半を占めており、商標権侵害物品が 46,950 点（構成比 53.2%、前年比 7.5%増）、次いで著作権侵害物品が 33,500 点（同 38.0%、92.4%増）と大幅に増加し、これらで全体の 91.2%を占めています。
- 前年は実績のなかった特許権侵害物品、不正競争防止法違反物品の差止めがありました。

知的財産差止実績構成比の推移（件数ベース）



知的財産差止実績構成比の推移（点数ベース）



(注)四捨五入しているため、品目毎の構成比の合計が 100%とならない場合がある。

平成23年の名古屋税関における知的財産侵害物品の差止状況(別添資料)

1. 品目別輸入差止実績(件数)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	前年同期比	構成比
バッグ類	631	758	857	906	680	75.1%	34.3%
靴類	52	96	126	208	293	140.9%	14.8%
衣類	113	116	136	241	260	107.9%	13.1%
時計類	94	174	165	123	117	95.1%	5.9%
ベルト類	43	61	82	66	90	136.4%	4.5%
キーケース類	116	128	161	139	86	61.9%	4.3%
眼鏡類及び付属品	9	25	44	83	81	97.6%	4.1%
身近細貨類	11	10	23	51	72	141.2%	3.6%
コンピュータ製品	2	6	9	36	68	188.9%	3.4%
携帯電話及び 付属品	10	17	40	57	59	103.5%	3.0%
医薬品	0	75	63	34	28	82.4%	1.4%
布製品	3	5	4	10	23	230.0%	1.2%
帽子類	13	24	28	10	22	220.0%	1.1%
電気製品	1	0	3	40	13	32.5%	0.7%
自動車及び付属品	1	1	4	16	12	75.0%	0.6%
上記以外の品目	67	90	90	112	81	72.3%	4.1%
合計	893	1,226	1,330	1,551	1,438	92.7%	100.0%

(注1) 件数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の件数を計上している。

(注2) 1事案で複数の品目を含んだものがあるため、品目ごとの件数の合計と合計欄の件数は一致しない。

2. 品目別輸入差止実績(点数)

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	前年 同期比	構成比
靴類	471	3,703	5,260	9,302	15,793	169.8%	17.9%
身辺細貨類	190	260	502	11,542	14,157	122.7%	16.1%
家庭用雑貨	-	-	16,439	10,199	7,771	76.2%	8.8%
バッグ類付属品	127	3,577	1,483	333	5,000	15 倍	5.7%
衣類	5,122	3,231	2,406	3,215	4,842	150.6%	5.5%
バッグ類	2,649	5,174	4,138	4,009	2,781	69.4%	3.2%
医薬品	0	4,322	4,725	5,348	2,288	42.8%	2.6%
玩具類	24	1,834	9	61	2,046	34 倍	2.3%
携帯電話及び 付属品	4,857	166	368	2,846	2,002	70.3%	2.3%
電気製品	162	0	1,337	2,014	1,188	59.0%	1.3%
布製品	4	21	9	93	1,069	12 倍	1.2%
コンピュータ製品	40	913	1,368	2,047	882	43.1%	1.0%
帽子類	2,236	529	1,817	467	541	115.8%	0.6%
眼鏡類及び付属品	172	230	237	367	407	110.9%	0.5%
自動車及び付属品	160	26	250	437	319	73.0%	0.4%
上記以外の品目	10,319	111,259	31,833	19,424	27,115	139.6%	30.7%
合計	26,533	135,245	72,181	71,704	88,201	123.0%	100.0%

(注1) 点数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の点数を計上しています。

(注2) 「家庭用雑貨」については、平成20年まで「上記以外の品目」としていたが、平成21年から新たな品目として追加しました。

3. 輸送形態別輸入差止実績

上段: 件数
下段: 点数

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	前年 同期比	構成比
郵便物	841	1,148	1,263	1,432	1,265	88.3%	88.0%
	7,034	58,733	36,328	31,186	40,733	130.6%	46.2%
一般貨物	52	78	67	119	173	145.4%	12.0%
	19,499	76,512	35,853	40,518	47,468	117.2%	53.8%
合計	893	1,226	1,330	1,551	1,438	92.7%	100.0%
	26,533	135,245	72,181	71,704	88,201	123.0%	100.0%

(注) 件数・点数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の件数・点数を計上しています。

4. 仕出国(地域)別輸入差止実績(件数)

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	前年 同期比	構成比
中国	646	1,055	1,145	1,242	1,131	91.1%	78.7%
フィリピン	49	40	60	79	140	177.2%	9.7%
香港	62	58	23	34	69	202.9%	4.8%
韓国	78	39	65	154	54	35.1%	3.8%
シンガポール	1	3	0	1	15	15 倍	1.0%
タイ	46	15	20	27	14	51.9%	1.0%
米国	1	6	3	3	4	133.3%	0.3%
台湾	0	0	2	4	3	75.0%	0.2%
マレーシア	1	0	1	2	3	150.0%	0.2%
上記以外の国	9	10	11	5	5	100.0%	0.3%
合計	893	1,226	1,330	1,551	1,438	92.7%	100.0%

(注1) 本表は仕出国(地域)ベースであり、原産国(地域)を示すものではありません。

(注2) 件数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の件数を計上しています。

5. 仕出国(地域)別輸入差止実績(点数)

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	前年 同期比	構成比
中国	18,611	119,374	65,604	57,380	68,965	120.2%	78.2%
台湾	0	0	201	2,339	8,684	371.3%	9.8%
韓国	1,755	639	1,318	3,674	6,710	182.6%	7.6%
香港	3,465	14,061	3,008	4,660	1,759	37.7%	2.0%
フィリピン	352	230	881	845	1,386	164.0%	1.6%
シンガポール	1	52	0	1	386	39 倍	0.4%
タイ	1,634	390	589	838	232	27.7%	0.3%
ペルー	14	0	0	0	30	全増	0.0%
マレーシア	3	0	2	1,932	21	1.1%	0.0%
米国	1	181	183	17	19	111.8%	0.0%
上記以外の国	697	318	395	18	9	50.0%	0.0%
合計	26,533	135,245	72,181	71,704	88,201	123.0%	100.0%

(注1) 本表は仕出国(地域)ベースであり、原産国(地域)を示すものではありません。

(注2) 点数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の点数を計上しています。

6. 知的財産別輸入差止実績

上段:件数
下段:点数

		平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	前年 同期比	構成比
特許権		2	3	3	0	1	全増	0.1%
		4	561	16,484	0	7,416	全増	8.4%
実用新案権		0	0	0	0	0	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
意匠権		9	10	8	13	7	53.8%	0.5%
		13,514	22,226	8,150	10,622	334	3.1%	0.4%
商標権		872	1,208	1,293	1,527	1,341	87.8%	92.3%
		12,595	102,181	41,706	43,673	46,950	107.5%	53.2%
著作権		14	11	31	21	103	490.5%	7.1%
		420	10,276	5,841	17,409	33,500	192.4%	38.0%
著作隣接権		0	0	0	0	0	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
育成者権		0	0	0	0	0	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
不正競争防止法 違反物品	周知表示 混同惹起品	0	1	0	0	1	全増	0.1%
		0	1	0	0	1	全増	0.0%
	著名表示 冒用品	0	0	0	0	0	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
	形態 模倣品	0	0	0	0	0	—	—
		0	0	0	0	0	—	—
技術的制限 手段回避装置		—	—	—	—	0	—	—
		—	—	—	—	0	—	—
合計		893	1,226	1,330	1,551	1,438	92.7%	100.0%
		26,533	135,245	72,181	71,704	88,201	123.0%	100.0%

(注1) 件数・点数は、侵害物品に係る一般輸入貨物及び輸入郵便物の件数・点数を計上しています。

(注2) 1事案で複数の知的財産侵害に当たるものがあるため、知的財産ごとの件数の合計と合計欄の件数は一致しません。

(注3) 著作隣接権とは、著作物の創作者ではありませんが、著作物の伝達に重要な役割を果たしている実演家、レコード製作者、放送事業者、有線放送事業者に認められた権利です。

(注4) 不正競争防止法違反物品のうち技術的制限手段回避装置については、平成23年12月1日に輸出入してはならない貨物となり、税関の取締りの対象となりました。